

アニマルアクティビティ

(授業概要)

アニマルセラピーやアニマルアクティビティの現状とセラピードッグの育成に関する適性飼育と必要な条件を学び、ボランティアや教育、介護などで活躍できる人材の育成を行う。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	荻野 直美
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

アニマルセラピーを通じて、ペット動物に対する意識の向上

動物介在活動の普及・ボランティアの育成

後期

動物介在活動の実践と動物を飼い暮らすことの大切さと難しさを伝えられるようになる。

(動物の適性飼育の重要性)

授業計画

- 1 回 自己紹介、アニマルセラピーとは
- 2 回 AAA・AAT・AAE 概要
- 3 回 AAT を行うためには
- 4 回 動物がもたらす効果
- 5 回 AAT を行う側からの分類①
- 6 回 AAT を行う側からの分類②
- 7 回 AAT を受ける側からの分類
- 8 回 AAT を行う上での動物のストレス①
- 9 回 AAT を行う上での動物のストレス②
- 10 回 動物の適性評価①
- 11 回 動物の適性評価②
- 12 回 患者に合った動物を選ぶ
- 13 回 AAT の適応に必要な場合
- 14 回 活動中のストレス要因
- 15 回 テスト (筆記)
- 16 回 テスト (解答) 前期まとめ
- 17 回 動物への不適当な扱い
- 18 回 捨てず・増やさず・飼うなら一生①
- 19 回 捨てず・増やさず・飼うなら一生②
- 20 回 グループワーク
- 21 回 活動に参加する動物のチェック
- 22 回 活動に際しての注意点

23 回	活動当日の注意点 デモンストレーション
24 回	ボランティアの責任
25 回	施設と設定
26 回	動物を飼う「食事編」
27 回	動物を飼う「環境編」
28 回	動物を飼う「体の手入れ編」
29 回	動物を飼う「運動編」
30 回	動物を飼う「予防編」
31 回	動物を飼う「トレーニング編」
32 回	後期ノートチェック、テスト範囲まとめ
33 回	後期期末試験
34 回	後期期末試験返却
35 回	動物を飼う「愛情・絆編」 まとめ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、演習、グループワーク

きょうざい 教材
ノートプリント配布 1～23、その他環境省の配布ポスター

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

けいけん じゅぎょうか もく かんけい 経験と授業科目の関係
動物介在活動履歴 20 年

基礎生物学

(授業概要)

高校生物の復習を基本に、将来的に関わる動植物についてより深く理解するための下地をつくる。
細胞、組織、臓器といった生体の構成成分を各階層で理解する。

か 科	動物看護師学科	きょういん 教 員	三輪
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

目 標

前期

生体を構成する細胞をはじめとし、組織、遺伝子、主な臓器について理解する。

後期

免疫の仕組み、神経系、感覚器、生物の分類について学ぶ。

授 業 計 画

- 1 回 細胞の構造（１）
- 2 回 細胞の構造（２）
- 3 回 生体を構成する物質
- 4 回 タンパク質、酵素
- 5 回 動物の組織と器官
- 6 回 遺伝子とゲノム
- 7 回 体細胞分裂
- 8 回 遺伝情報の発現
- 9 回 減数分裂
- 10 回 遺伝・メンデルの法則
- 11 回 恒常性、体液、循環器系
- 12 回 動物の循環、循環器系
- 13 回 肝臓の働き、腎臓の働き
- 14 回 腎臓の働き、消化器系の働き
- 15 回 まとめ
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験返却、答え合わせ
- 18 回 生体防御（１）
- 19 回 生体防御（２）
- 20 回 神経系

21 回 感覚器（視覚、聴覚、平衡感覚）
22 回 感覚器（味覚、嗅覚、皮膚感覚）
23 回 まとめ
24 回 内分泌系
25 回 糖尿病と血糖値
26 回 自律神経（交感神経・副交感神経）
27 回 自習
28 回 生物の分類
29 回 生物の系統樹、ドメイン
30 回 原核生物界、原生生物界
31 回 植物界
32 回 動物界
33 回 まとめ
34 回 後期期末試験
35 回 後期期末試験返却、答え合わせ

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

教材と板書

きょうざい
教材

浜島書店『生物図表』

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、しゅつせきりつ 平常点 20%（じゅぎょうたいど 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

特になし。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物解剖生理学Ⅰ

(授業概要)

解剖生理学は生命科学を学ぶ上での根幹的分野であり、臨床系は言うに及ばず、他の基礎系を学ぶ上でもまず修得しておかねばならない知識である。その意味で、他教科でも重要視される項目をまず出来るだけ初期に学習し、順次身体の各分野項目へと広げていく。また、内容的には、どの項目でも最低知っておかねばならない知識の修得を最優先に、まずは「広く」各組織の全体像を理解する。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	水澤 栄雄
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	70

目標

前期

全身に認められる組織や全身に広く影響を与える器官の形状や機能を理解する。細胞、血液、免疫機序、を中心に講義を進める。他教科を理解する上にも特に欠かせない項目を優先して学んでいく。

後期

前期に同じく、神経系や内分泌系など、身体の機能全般を総合的に理解していく上で欠かせない項目も続くが、特に主要な器官の特異性を理解することで、体全体の構造を体系的に理解するように努力する。

授業計画

- 1回 序章 細胞・組織（1）：解剖生理学を学ぶ意義、細胞の基本構造
- 2回 細胞・組織（2）：細胞小器官の構造と機能
- 3回 細胞・組織（3）細胞分裂と遺伝子（1）：細胞小器官の構造と機能、細胞分裂と遺伝子
- 4回 細胞分裂と遺伝子（2）：DNA と RNA の構造と機能
- 5回 細胞分裂と遺伝子（3）：セントラルドグマ、DNA の複製
- 6回 血液（1）：血液の機能と赤血球の働き
- 7回 血液（2）：白血球の機能
- 8回 血液（3）：血小板と造血機能
- 9回 血液（4）：血漿と血漿蛋白
- 10回 循環器系（1）：血液循環、心臓の形態と機能（前）
- 11回 循環器系（2）：心臓の形態と機能（後）、血管、リンパ管
- 12回 免疫（1）：免疫の仕組み、自然免疫
- 13回 免疫（2）：獲得免疫
- 14回 免疫（3）：免疫寛容と免疫記憶
- 15回 免疫（4）：アレルギー反応
- 16回 前期期末試験
- 17回 前期期末試験返却・解答
- 18回 神経系（1）：神経の機能、神経細胞の形態と機能
- 19回 神経系（2）：中枢神経系（脳）

- 20 回 神経系（3）：中枢神経系（脊髄）
- 21 回 神経系（4）：末梢神経系
- 22 回 内分泌系（1）：内分泌系の機能、下垂体ホルモン
- 23 回 内分泌系（2）：甲状腺ホルモン、上皮小体ホルモン、副腎皮質ホルモンなど
- 24 回 内分泌系（3）：性ホルモン、その他のホルモン
- 25 回 呼吸器系（1）：呼吸器系の機能、上部気道（咽頭、喉頭、気管）
- 26 回 呼吸器系（2）：気管支、肺、胸郭、気嚢
- 27 回 消化器系（1）：口腔、食道、歯
- 28 回 消化器系（2）：胃、胆嚢、膵臓、
- 29 回 消化器系（3）：小腸・大腸
- 30 回 感覚器（1）：視覚と視神経
- 31 回 感覚器（2）：聴覚と平衡覚
- 32 回 骨と骨格（1）：骨の形態と機能および成長、骨芽細胞と破骨細胞
- 33 回 骨と骨格（2）：全身の主要な骨格
- 34 回 後期期末試験
- 35 回 後期期末試験返却・解答

授業の方法

自作のテキストによる講義。

教材

自作テキスト

評価の方法

期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

授業外での学習方法

エドワルドプレス「動物形態機能学」をはじめとする参考書群により、テキスト内容を補強する。

実務経験と授業科目の関係

あり

動物栄養学Ⅰ

(授業概要)

ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取り扱い責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。

科	動物看護師学科	きょういん 教 員	河島 英二
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	70

目 標

前期

犬・猫の基礎栄養、栄養評価法及びフード（法規制を含む）について知識を習得する。

後期

犬・猫の理想体重の栄養診断を行い、適正給餌量やフードの選択を学び、各種疾患に合わせた栄養管理法とその手法を習得する。

授 業 計 画

- 1 回 犬・猫の基礎栄養～栄養と栄養素
- 2 回 犬猫の食性、摂食行動、嗜好性、異嗜、摂食量、飲水量
- 3 回 犬や猫に与えてはいけない食材・添加物（禁忌食）
- 4 回 栄養評価法～犬と猫のエネルギー評価法
- 5 回 犬と猫の栄養要求量ガイドライン
- 6 回 犬と猫のライフステージと栄養
- 7 回 犬と猫の栄養状態評価法
- 8 回 フード～ペットフードの歴史
- 9 回 ペットフードの種類
- 10 回 ペットフードの製造方法
- 11 回 ペットフードに使用される原料
- 12 回 サプリメント
- 13 回 ペットフードの法規制
- 14 回 栄養指導～栄養診断“この子の理想体重は？”
- 15 回 適正給与量“どのくらいフードを与えれば良いのか？”、フードの選択“どんなフードを与えれば良いのか？”、肥満
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験解説
- 18 回 疾患と栄養の関係～慢性腎臓病の栄養管理
- 19 回 尿石症の栄養管理
- 20 回 心血管系疾患の栄養管理

- 2 1 回 消化器疾患の栄養管理
- 2 2 回 肝疾患の栄養管理
- 2 3 回 糖尿病の栄養管理
- 2 4 回 皮膚疾患・アレルギー疾患の栄養管理
- 2 5 回 栄養管理～非経腸栄養法の疾患と実施の方法
- 2 6 回 経口栄養剤の成分と利用法
- 2 7 回 強制給餌法
- 2 8 回 経胃栄養剤と経腸栄養剤の成分・利用法
- 2 9 回 設置したカテーテル/チューブの維持管理法
- 3 0 回 食事管理失宣による症状および対応方法
- 3 1 回 補講 1
- 3 2 回 補講 2
- 3 3 回 補講 3
- 3 4 回 後期期末試験
- 3 5 回 後期期末試験解説

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

EDUWARD Press 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8 巻

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験 80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうか もく かんけい
実務経験と授業科目の関係

獣医師

家畜学

(授業概要)

人間生活を支えている家畜の役割と動向、家畜の生理生態、飼料の生産と利用を学ぶ

科	動物看護師学科	きょういん 教員	金田
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

家畜動物とはどのように人とつながっているのか、社会的役割はどのようになっているのかを理解する。
家畜動物であるウシおよびブタについて、体の特徴や飼育に関する知識、生産物や疾病について理解する。

家畜動物であるブタおよびウマ、ニワトリについて、体の特徴や飼育に関する知識、生産物や疾病について理解する。

授業計画

- 1回 家畜動物の定義
- 2回 ウシの概要について①
- 3回 ウシの概要について②、ウシの体の構造について①
- 4回 ウシの体の構造について②
- 5回 ウシの体の構造について③
- 6回 ウシの品種について、ウシの飼育について①
- 7回 ウシの飼育について②
- 8回 ウシの飼育について③
- 9回 ウシの疾患について①
- 10回 ウシの疾病について②
- 11回 ブタの概要について①
- 12回 ブタの体の構造について①
- 13回 ブタの体の構造について②
- 14回 試験対策
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 ブタの品種について、ブタの飼育について①
- 18回 ブタの飼育について②
- 19回 ブタの飼育について③
- 20回 ブタの疾病について①

- 21 回 ブタの疾病について②
- 22 回 ウマの概要について
- 23 回 ウマの体の構造について①
- 24 回 ウマの体の構造について②
- 25 回 ウマの品種について①
- 26 回 ウマの品種について②、ウマの飼育について①
- 27 回 ウマの飼育について②
- 28 回 ウマの飼育について③
- 29 回 ウマの疾病について①
- 30 回 ウマの疾病について②
- 31 回 試験対策
- 32 回 後期期末試験
- 33 回 試験返却
- 34 回 ニワトリの概要について①
- 35 回 ニワトリの概要について②

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

家畜動物の基礎（教科書）、自作プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験 80%、じょうじょう 平常点 20%（しゅつせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

動物関連法規学Ⅰ

(授業概要)

狂犬病予防法、動物愛護法を中心に愛玩動物看護師国家試験の範囲となる法律について学ぶ。

科	動物看護師学科	教員	井田 竜馬
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

法律の仕組み、狂犬病予防法など動物に関わる以上は必須となる制度について理解できるようになる。

後期

動物愛護法を中心に愛玩動物看護師国家試験の範囲に関する事柄や制度について理解できるようになる。

授業計画

- 1回 授業概要紹介、自己紹介など
- 2回 犬猫飼養頭数、動物に関する社会の現状など
- 3回 狂犬病予防法（1）狂犬病とは その1
- 4回 狂犬病予防法（2）狂犬病とは その2
- 5回 狂犬病予防法（3）狂犬病清浄国・地域について
- 6回 狂犬病予防法（4）狂犬病予防法の概要 その1 法の概要、目的
- 7回 狂犬病予防法（5）狂犬病予防法の概要 その2 対象動物、輸入禁止動物（感染症法）
- 8回 狂犬病予防法（6）狂犬病予防法の概要 その3 畜犬登録、狂犬病予防注射制度
- 9回 狂犬病予防法（7）狂犬病予防法の概要 その4 罰則など
- 10回 動物が亡くなった場合（1）動物や動物の死体の法的立場
- 11回 動物が亡くなった場合（2）廃棄物処理法と化製場法と動物
- 12回 前期期末試験
- 13回 前期期末試験返却
- 14回 動物が亡くなった場合（3）人の墓に動物を入れることはできるのか その1
- 15回 動物が亡くなった場合（3）人の墓に動物を入れることはできるのか その2
- 16回 動物愛護法（1）法律の成立背景その1
- 17回 動物愛護法（2）法律の成立背景その2
- 18回 動物愛護法（3）目的
- 19回 動物愛護法（4）基本原則
- 20回 動物愛護法（5）動物の飼い主の責任 その1
- 21回 動物愛護法（6）動物の飼い主の責任 その2
- 22回 動物愛護法（7）動物虐待に対する罰則 その1
- 23回 動物愛護法（8）動物虐待に対する罰則 その2
- 24回 動物愛護法（9）動物取扱業の規制 その1
- 25回 動物愛護法（10）動物取扱業の規制 その2

- | | | |
|------|--------------------------------|------|
| 26 回 | 動物愛護法（11）動物取扱業の規制 | その 3 |
| 27 回 | 後期期末試験 | |
| 28 回 | 後期期末試験返却 | |
| 29 回 | 動物愛護法（12）動物取扱業の規制 | その 4 |
| 30 回 | 動物愛護法（13）第 2 種動物取扱業、実験動物と産業動物、 | |
| 31 回 | 動物愛護法（14）特定動物 | その 1 |
| 32 回 | 動物愛護法（15）特定動物 | その 2 |
| 33 回 | 動物愛護法（16）マイクロチップの装着 | |
| 34 回 | 動物愛護法（17）自治体の役割 | |
| 35 回 | 1 年総復習 | |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%（ しゅっせきりつ 出席率、 じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
1 回 1 回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

公衆衛生学Ⅰ

(授業概要)

近年環境破壊等の人間活動を原因とする新興感染症・再興感染症の台頭が地球規模で問題となっており、これらの多くが人獣共通感染症である。人、動物、環境の健康は一体として守るべきもの（ワンヘルス）との考え方を基本として、人と動物の健康保持・推進のため人獣共通感染症について学習する。さらに、動物由来の食品等が原因となることが多い食中毒についても学習する。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	花木 久実子
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

公衆衛生の基本となる国民衛生の動向、感染症の基本的知識（疫学、病原体、感染、防疫等）について学ぶ。
人獣共通感染症のうち、細菌及び寄生虫（線虫）を原因とするものについて学ぶ。

後期

人獣共通感染症のうち、寄生虫（吸虫、条虫）、ウイルス、真菌を原因とするものについて学ぶ。
感染症を媒介することが多い衛生害虫（蚊、ダニ、ノミ等）について学ぶ。
食中毒と食品による危害防止を目的とする食品衛生法について学ぶ。

授業計画

- 1回 公衆衛生とは
- 2回 国民衛生の動向
- 3回 疫学と疾病予防
- 4回 感染症の基礎1（病原体）
- 5回 感染症の基礎2（病原体）
- 6回 感染症の基礎3（感染と予防）
- 7回 人獣共通感染症総論
- 8回 細菌性人獣共通感染症1
- 9回 細菌性人獣共通感染症2
- 10回 細菌性人獣共通感染症3
- 11回 細菌性人獣共通感染症4
- 12回 細菌性人獣共通感染症5
- 13回 寄生虫性人獣共通感染症1
- 14回 寄生虫性人獣共通感染症2
- 15回 前期まとめ
- 16回 前期期末試験
- 17回 答案返却、解説
- 18回 寄生虫性人獣共通感染症3
- 19回 寄生虫性人獣共通感染症4

- 20 回 寄生虫性人獣共通感染症 5
- 21 回 ウイルス性人獣共通感染症 1
- 22 回 ウイルス性人獣共通感染症 2
- 23 回 ウイルス性人獣共通感染症 3
- 24 回 ウイルス性人獣共通感染症 4
- 25 回 ウイルス性人獣共通感染症 5
- 26 回 狂犬病
- 27 回 真菌性人獣共通感染症、公衆衛生上重要な衛生昆虫
- 28 回 新興感染症・再興感染症 1
- 29 回 新興感染症・再興感染症 2
- 30 回 食品衛生法の概要
- 31 回 食中毒 1
- 32 回 食中毒 2
- 33 回 食中毒 3
- 34 回 後期まとめ
- 35 回 後期期末試験
- 35 回 答案返却、解説

授業の方法

自作のテキスト、パワーポイントによる講義

教材

なし

評価の方法

期末試験 80%、授業態度 20%

授業外での学習方法

参考書、厚生労働省等公的機関のウェブサイト等により知識や最新情報を習得する

実務経験と授業科目の関係

あり（公衆衛生獣医師として保健所等で公衆衛生行政に従事）

基礎健康管理学Ⅰ

(授業概要)

動物と関わる上で日常的な健康管理や予防について学び、実践できるようにする

科	動物看護師学科	教員	田中
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

犬や猫の日常的な健康管理と予防について学び、正常時と異常時の違いを理解し、異常時に早く気付くことができる

後期

前期に引き続き健康学と予防について学ぶ。またそれらを基礎とし、様々な疾患について理解する。

授業計画

- 1回 授業について
- 2回 散歩・運動について
- 3回 排泄、排尿について
- 4回 全身のお手入れ、各疾患について①
- 5回 全身のお手入れ、各疾患について②
- 6回 全身のお手入れ、各疾患について③
- 7回 口腔衛生について①
- 8回 口腔衛生について②
- 9回 口腔衛生について③
- 10回 熱中症について①
- 11回 熱中症について②
- 12回 犬の登録
- 13回 ワクチンで予防できる病気（犬）
- 14回 ワクチンで予防できる病気（猫）
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 不妊手術について①
- 18回 不妊手術について②

- 19 回 犬糸状虫症の予防について
- 20 回 外部寄生虫について①
- 21 回 外部寄生虫について②
- 22 回 外部寄生虫について③
- 23 回 腸内寄生虫について①
- 24 回 腸内寄生虫について②
- 25 回 腸内寄生虫について③
- 26 回 犬種によって多く見られる疾患について①
- 27 回 犬種によって多く見られる疾患について②
- 28 回 猫種によって多く見られる疾患について①
- 29 回 猫種によって多く見られる疾患について②
- 30 回 中毒について①
- 31 回 後期復習
- 32 回 後期期末試験
- 33 回 試験返却
- 34 回 中毒について②
- 35 回 総復習（課題）

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい
教材

プリント、教科書（コンパニオンアニマルの健康管理学）

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

授業用のプリントと教科書を各自見直し、纏める。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

基礎健康管理学 A

(授業概要)

動物と関わる上で理解しておくべき事項について学び、実践できるようにする

科	動物看護師学科	教員	田中
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

投薬・輸液の種類や主義を学び、理解する

健康診断の必要性やその内容を学ぶ

後期

前期に続き、健康診断の内容を学ぶ

ライフステージに合った栄養や食事管理が必要な疾患について学ぶ

災害時などの同伴同行避難を理解し、救急時の対応について学ぶ

授業計画

- 1回 授業について
- 2回 投薬について
- 3回 投薬の方法①
- 4回 投薬の方法②
- 5回 投薬の方法③
- 6回 略語
- 7回 輸液について①
- 8回 輸液について②
- 9回 輸血について
- 10回 健康診断の必要性
- 11回 健康診断（身体検査）
- 12回 健康診断（血液検査①）
- 13回 健康診断（血液検査②）
- 14回 前期復習
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 健康診断（糞便検査）
- 18回 健康診断（尿検査）

- 19 回 健康診断（超音波検査、心電図検査）
- 20 回 健康診断（血圧検査、レントゲン検査）
- 21 回 食事と栄養
- 22 回 ライフステージに合った食事①
- 23 回 ライフステージに合った食事②
- 24 回 療法食について
- 25 回 様々な疾患と食事管理①
- 26 回 様々な疾患と食事管理②
- 27 回 様々な疾患と食事管理③
- 28 回 様々な疾患と食事管理④
- 29 回 同行避難と同伴避難①
- 30 回 同行避難と同伴避難②
- 31 回 緊急時について
- 32 回 後期復習
- 33 回 後期期末試験
- 34 回 試験返却
- 35 回 総復習（課題）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義、グループワーク

きょうざい 教材

プリント、教科書（コンパニオンアニマルの健康管理学）

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

授業用のプリントと教科書を各自見直し、纏める。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

コンパニオンキャット

（授業概要）

ペットに関わる職業を目指す為に、猫の基本知識を習得する。

科	動物看護師学科	教員	上田阿由美
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

猫を飼う基本的な事

猫種名を知る 猫と犬の違い 行動学 スタンダード

後期

健康チェック 猫を迎える準備 自宅でのケア

猫の病気 ワクチネーション スタンダード

授業計画

- 1回 オリエンテーション（上田の自己紹介・授業のルール・評価の出し方・1年間の授業内容）
アンケート用紙配布（来週提出、期日厳守）
- 2回 猫名（カラーコピー配布、学生に猫名を入力させる）
アンケート提出
- 3回 アンケートの中の（外飼いのデメリット・避妊/去勢手術のメリット・ペットロス）
- 4回 プロの MIX（雑種）と純血種の定義
- 5回 純血種の LH・SH の飼い方、性格の違い・遺伝の違い
- 6回 純血種の MALE・FEMALE の飼い方・性格の違い
- 7回 猫と犬との違い①（習性・体型・感触）多胎性について
- 8回 猫と犬との違い②（運動感覚・体臭・排泄物）
- 9回 猫と犬との違い③（種類・カラー・腸・歯）
- 10回 猫と犬との違い④（繁殖機能）
- 11回 行動学①（舌・爪・尾）
- 12回 行動学②（髭・鼻・目・耳）
- 13回 行動学③（内蔵・皮膚・体感）
- 14回 行動学④（猫の動き方のまとめ）
- 15回 前期期末試験
- 16回 テスト返却（不理解部分の説明）
- 17回 前期の反省（後期に向かって）（猫の歴史）
- 18回 猫種の分類（ボティータイプ・カラー・特殊な形 等）
- 19回 CFA 公認猫種の DVD①
- 20回 CFA 公認猫種の DVD②
- 21回 猫を自宅に迎える（オーナーの条件・準備）
- 21回 迎えた時の注意点

2 2 回 猫の病気①（早期発見するには）
2 3 回 猫の病気②
2 4 回 猫の病気③
2 5 回 猫の病気④
2 6 回 猫の病気⑤（伝染病）
2 7 回 猫の病気⑥（遺伝病）
2 8 回 ワクチネーション①
2 9 回 ワクチネーション②
3 0 回 猫のシャンプー①
3 1 回 猫のシャンプー②
3 2 回 猫のシャンプー③
3 3 回 後期期末試験
3 4 回 テスト返却（不理解部分の説明）
3 5 回 2 年になるにあたっての心構え等

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学

きょうざい
教材

CFA 公認猫種カラーコピー

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、平常点 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

機会があればキャットショー見学

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

CFA（キャットファンシャーズアソシエーション U.S.A）公認 オールブリードジャッジ

コンパニオンドッグ

（授業概要）

犬に関わる職業において必要な犬種ごとの特徴や対応を学び、犬を理解するとともに、将来の仕事において、お客様への情報提供やサービス、接客にて役立つ知識として学ぶ。また、実習において基礎知識を応用し、実際に犬と関わるうえで犬の扱い方、対応を実践としてつなげる。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	稲岡 愛
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

主要犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

後期

主要以外の人気犬種の J K C でのグループ分け、犬種の外観、性格、歴史、飼育環境、健康管理、行動特性などを学び、外観を見て犬種名、犬種の特徴を説明できるようになる

授業計画

- 1 回 授業の説明、グループ分け①
- 2 回 グループ分け②
- 3 回 グループ分け③
- 4 回 グループ分け④
- 5 回 グループ分け⑤
- 6 回 人気犬種 2 種（プードルなど）
- 7 回 人気犬種 2 種（ダックスフンドなど）
- 8 回 人気犬種 2 種（柴など）
- 9 回 人気犬種 2 種（M シュナウザーなど）
- 10 回 人気犬種 2 種（マルチーズなど）
- 11 回 人気犬種 2 種（フレンチブルドッグなど）
- 12 回 自主学習日（課題）
- 13 回 自主学習日（課題）
- 14 回 自主学習日（課題）
- 15 回 試験対策
- 16 回 前期期末試験
- 17 回 前期期末試験
- 18 回 人気犬種 2 種（パグなど）

- 19回 人気犬種 2 種 (L レトリバーなど)
- 20回 人気犬種 2 種 (ブルドッグなど)
- 21回 ペットを迎え入れることについて
- 22回 人気犬種 2 種 (シベリアン・ハスキーなど)
- 23回 人気犬種 2 種 (ドーベルマンなど)
- 24回 人気犬種 2 種 (G シェパードなど)
- 25回 人気犬種 2 種 (サモエドなど)
- 26回 犬との生活
- 27回 人気犬種 2～3 種 (チャウ・チャウなど)
- 28回 人気犬種 2～3 種 (ニューファンドランドなど)
- 29回 人気犬種 2～3 種 (Mブル・テリアなど)
- 30回 人気犬種 2～3 種 (アイリッシュ・セターなど)
- 31回 試験対策
- 32回 後期期末試験
- 33回 後期期末試験
- 34回 就職先で犬種知識を生かすために
- 35回 自主学習日 (課題)

授 業 の 方 法

講義

教 材

まるごとわかる犬種図鑑

評 価 の 方 法

期末試験 80%、平常点 20% (出席率、授業態度等)

授 業 外 で の 学 習 方 法

授業前に事前学習として対象の犬種の様々な画像を見ておく
 日常生活で犬を見たら犬種名を言えるようにする (わからない場合は調べるもしくは飼い主に確認)

実務経験と授 業 科目の関係

あり

動物看護基礎実習

（授業概要）

エキゾチックアニマルを扱う仕事（動物園、水族館、ペットショップ等）をする上で必要な知識を身につけるために、主要4種類（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット、チンチラ、コンパニオンバード）のペット動物の分類や生体・生態・特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科	動物看護師学科	教員	楠本 恵美子
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	70

目標

前期

保定の基本を身につける。バイタルサインや主要な病気の症状を理解し、動物の健康管理に役立てることができる。

後期

ワクチンや避妊去勢において、予防できる病気などを理解し、クライアントエデュケーションができるようになる。エキゾチックアニマルの生態を理解し、保定方法を身につける。

授業計画

- 1回 自己紹介、授業に関して・動物への接し方・看護実習室の使い方
- 2回 犬保定
- 3回 猫保定 保定実習
- 4回 バイタルサイン①
- 5回 バイタルサイン②
- 6回 薬について①
- 7回 薬について②
- 8回 健康チェック①
- 9回 健康チェック②
- 10回 混合ワクチン①
- 11回 混合ワクチン②
- 12回 狂犬病
- 13回 前期期末試験
- 14回 前期期末試験
- 15回 フィラリア①
- 16回 フィラリア②

- 17回 予防医療
- 18回 ノミ・マダニ
- 19回 予防医療
- 20回 食事と療法食について①
- 21回 食事と療法食について②
- 23回 不妊について①
- 24回 不妊について②
- 25回 肥満予防
- 26回 血液検査①
- 27回 血液検査②
- 28回 グループワーク院内ポップ作成①
- 29回 グループワーク院内ポップ作成①
- 30回 復習
- 31回 ウサギ・フェレット：健康チェック、疾病、保定
- 32回 ウサギ・フェレット実習
- 33回 トリについて
- 34回 後期期末試験について
- 35回 後期期末試験

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学・実習

きょうざい
教材

自作プリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん しゅっせきりつ じゅぎょうたいど
期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

なし

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

資格対策

(授業概要、目的)

サービス接遇検定 3 級/愛玩動物飼養管理士 2 級の認定試験で合格する事。

試験に合格し資格を取得することで就職活動や就職後の業務に活用できる。

サービス接遇検定⇒6 月上旬に認定試験開催⇒試験範囲(サービススタッフの資質/専門知識/一般知識/対人技能/実務技能)教材をもとに対策授業を行う。

愛玩動物飼養管理士⇒11 月下旬に認定試験開催⇒スクーリング/マークシート課題の実施と試験範囲の対策授業を行う。

か 科	動物看護師学科	きょういん 教 員	荻野
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	×
たいしやうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんとんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

- ・ サービス接遇検定 3 級取得を目指す。
- ・ 基本的なサービス接遇(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。

後期

- ・ 愛玩動物飼養管理士 2 級取得を目指す。
- ・ スクーリング/マークシートの実施を行い試験範囲の内容を学習する。課題報告問題の解説。

授 業 計 画

- 1 回 オリエンテーション(受験申込書記入/試験概要の説明)
- 2 回 サービススタッフの資質について
- 3 回 専門知識
- 4 回 一般知識
- 5 回 対人技能
- 7 回 実務技能
- 8 回 模擬試験(6/14 認定試験)
- 9 回 オリエンテーション(愛玩動物飼養管理士教科書配布/課題の説明)
- 10 回 スクーリング実施
- 11 回 スクーリング実施
- 12 回 マークシート課題報告問題実施
- 13 回 マークシート課題報告問題実施
- 14 回 マークシート課題報告問題実施/前期期末試験対策
- 15 回 前期期末試験
- 16 回 前期期末試験返却、解説
- 17 回 愛玩動物飼養管理士試験対策①
- 18 回 愛玩動物飼養管理士試験対策②
- 19 回 愛玩動物飼養管理士試験対策③

- 20 回 愛玩動物飼養管理士試験対策④
- 21 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑤
- 22 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑥
- 23 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑦
- 24 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑧
- 25 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑨
- 26 回 愛玩動物飼養管理士試験対策⑩(11/23 認定試験)
- 27 回 SPI 対策①
- 28 回 SPI 対策②
- 29 回 SPI 対策③
- 30 回 SPI 対策④
- 31 回 SPI 対策⑤
- 32 回 SPI 対策⑥
- 33 回 後期期末試験
- 34 回 後期期末試験返却、解説
- 35 回 総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

対策資料及び教本を用いた授業の実施

きょうざい
教材

サービス接遇検定実問題集(3 級)/愛玩動物飼養管理士 2 級教本 2 冊/スクーリング資料/ペットの飼養管理

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80% / じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

問題集/スクーリング/マークシート/配布プリントの復習

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係

○

エキゾチックアニマル

（授業概要）

エキゾチックアニマルを扱う仕事（動物園、水族館、ペットショップ等）をする上で必要な知識を身につけるために、主要4種類（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット、チンチラ、コンパニオンバード）のペット動物の分類や生体・生態・特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科	動物看護師学科	教員	金田
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	70

目標

エキゾチックの概要およびペットや飼育動物の定義を習得する。ハムスターの生体や歴史、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

ウサギ・モルモット・フェレットの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

授業計画

- 1回 エキゾチックアニマルとは
- 2回 ペットの適性について
- 3回 ハムスターについて（分類、歴史、体の特徴）
- 4回 ハムスターについて（生理的な特徴、飼育方法）
- 5回 ハムスターについて（繁殖）
- 6回 ハムスターについて（病気）
- 7回 ウサギについて（分類・歴史、体の特徴）
- 8回 ウサギについて（体の特徴）
- 9回 ウサギについて（生理的な特徴、飼育方法）
- 10回 ウサギについて（病気）
- 11回 ウサギについて（病気）
- 12回 モルモットについて（分類・歴史、体の特徴）
- 13回 モルモットについて（生理的な特徴）
- 14回 試験対策
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 モルモットについて（飼育方法・繁殖）
- 18回 モルモットについて（繁殖）

- 19回 モルモットについて（病気）
- 20回 モルモットについて（病気）
- 21回 フェレットについて（分類・歴史、体の特徴）
- 22回 フェレットについて（体の特徴）
- 23回 フェレットについて（生理的な特徴、飼育方法）
- 24回 フェレットについて（病気）
- 25回 チンチラについて（分類・歴史、体の特徴）
- 26回 チンチラについて（体の特徴、生理的な特徴）
- 27回 チンチラについて（飼育方法、病気）
- 28回 コンパニオンバードについて（概要、種類）
- 29回 コンパニオンバードについて（体の特徴）
- 30回 コンパニオンバードについて（体の特徴、生理的な特徴）
- 31回 コンパニオンバードについて（飼育方法）
- 32回 試験対策
- 33回 後期期末試験
- 34回 試験返却
- 35回 コンパニオンバードについて（病気）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

講義

きょうざい 教材

カラーアトラス エキゾチックアニマル

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

生体管理概論実習

(授業概要)

飼育棟や地下水族館などにおいて、小動物や家畜動物、水生生物に関する知識を応用とした飼育実践を行う。掃除・給餌・健康チェック・ケア・設備管理といった基礎を実施する。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	金田・姉崎
コース	動物看護師コース	きょういん　じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	70

もくひょう 目標

飼育管理における、掃除・給餌・健康チェック・ケア・設備管理を理解し身につける。危険予測をおこない、常に万が一のことを考えて行動することができるようになる。一緒に活動するメンバーとコミュニケーションをとり、報告・連絡・相談ができるようになる。
前期に身につけた知識および技術を応用し更に良い飼育環境をつくるために考え行動することができる。

じゅぎょうけいかく 授業計画

- 1回 生体管理についての説明
- 2回 飼育棟管理についての説明
- 3回 飼育棟管理および地下管理について
- 4回 飼育棟管理および地下管理について
- 5回 飼育実習・地下管理実習
- 6回 飼育実習・地下管理実習
- 7回 飼育実習・地下管理実習
- 8回 飼育実習・地下管理実習
- 9回 飼育実習・地下管理実習
- 10回 飼育実習・地下管理実習
- 11回 飼育実習・地下管理実習
- 12回 飼育実習・地下管理実習
- 13回 飼育実習・地下管理実習
- 14回 飼育実習・地下管理実習
- 15回 前期期末試験
- 16回 試験返却
- 17回 飼育実習・地下管理実習
- 18回 飼育実習・地下管理実習
- 19回 飼育実習・地下管理実習
- 20回 飼育実習・地下管理実習

21 回 飼育実習・地下管理実習
22 回 飼育実習・地下管理実習
23 回 飼育実習・地下管理実習
24 回 飼育実習・地下管理実習
25 回 飼育実習・地下管理実習
26 回 飼育実習・地下管理実習
27 回 飼育実習・地下管理実習
28 回 飼育実習・地下管理実習
29 回 飼育実習・地下管理実習
30 回 飼育実習・地下管理実習
31 回 飼育実習・地下管理実習
32 回 後期期末試験
33 回 試験返却
34 回 飼育実習・地下管理実習
35 回 飼育実習・地下管理実習

講義・生体管理実践

きょうざい
教材

自作プリント、教科書

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん じゅぎょうたいど
期末試験80%、授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

両生爬虫類学Ⅰ

（授業概要）

両生類と爬虫類は、世界中に広く分布し、生態学的な役割が重要であり、近年でもペットとして飼われる傾向も上がっている。また、両生爬虫類は経済、医療、社会文化など様々な価値があり、人間との関係性も従来から深く築いている。本授業では、生態学を視座として、両生爬虫類における動物学的特徴、生息地や保全状況などの基礎知識を知り、人間との関係性について理解し、最終的に娯楽として、基礎的な両生類・爬虫類の飼い方を学ぶ。

か 科	動物看護師学科	きょういん 教 員	潘 之甫
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目 標

前期

両生類の特徴、分類、多様性、調査方法と保全現状について包括的に理解する。

両生類の社会・文化・経済・医療的価値などについて包括的に理解する。

両生類の飼育環境と飼育方法について学ぶ。

後期

爬虫類の特徴、分類、多様性、調査方法と保全現状について包括的に理解する。

爬虫類の社会・文化・経済・医療的価値などについて包括的に理解する。

爬虫類の飼育環境と飼育方法について学ぶ。

授 業 計 画

- 1 回 オリエンテーション、本講義について
- 2 回 両生類の特徴
- 3 回 両生類の分類、多様性 1
- 4 回 両生類の分類、多様性 2
- 5 回 両生類の行動生態
- 6 回 両生類の調査方法
- 7 回 両生類の保全現状
- 8 回 両生類の様々な価値
- 9 回 両生爬虫類の変温特性について
- 10 回 両生類の飼育環境・飼育方法について 1
- 11 回 両生類の飼育環境・飼育方法について 2
- 12 回 爬虫類の特徴（有鱗目）
- 13 回 爬虫類の分類（有鱗目）
- 14 回 爬虫類の多様性（有鱗目）
- 15 回 2 学期に向けて

- | | |
|------|-----------------------|
| 16 回 | 試験対策 1 |
| 17 回 | 試験対策 2 |
| 18 回 | 前期期末試験 |
| 19 回 | 試験返却 |
| 20 回 | 両生爬虫類の進化について |
| 21 回 | 爬虫類の特徴・分類（カメ目） |
| 22 回 | 爬虫類の多様性（カメ目） |
| 23 回 | 爬虫類の特徴（ワニ目） |
| 24 回 | 爬虫類の分類（ワニ目） |
| 25 回 | 爬虫類の多様性（ワニ目） |
| 26 回 | 爬虫類の調査方法 |
| 27 回 | 爬虫類の保全現状、保全にできること |
| 28 回 | 爬虫類の生態系サービスについて |
| 29 回 | 爬虫類の飼育環境・飼育方法（トカゲ・ヘビ） |
| 30 回 | 爬虫類の飼育環境・飼育方法（カメ） |
| 31 回 | 学術文献の調べ方 |
| 32 回 | 学術文献のまとめ方 |
| 33 回 | これまでの振り返り、試験対策 1 |
| 34 回 | 試験対策 2 |
| 35 回 | 後期期末試験、試験フィードバック |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、演習

きょうざい 教材
両生類・爬虫類のふしぎ（サイエンス・アイ新書 84） Amphibians and reptiles (Naturalists' Handbooks Book 31) (English Edition) ※必要に応じて参考資料を配布する。

ひょうか ほうほう 評価の方法
期末試験 80%、授業態度・出席率 20%

じゅぎょうが い がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
台湾・台北市立木柵動物園保全研究センターでの実務経験。日本環境教育学会員。

グルーミング概論実習

（授業概要）

シャンプー犬種のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、バリカン、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、足回りカットを行い、犬の保定の仕方や犬の扱い方の基礎を学ぶ。学生同士協力しスムーズに実習を行うことが出来るようにコミュニケーション能力を身に付ける。

科	動物看護師学科	きょういん 教 員	坂本 亜由美
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	140

目 標

前期

チワワ・ダックスフンド等のシャンプー犬に実際にグルーミング（爪切り・耳掃除・バリカン・ブラッシング・シャンプー・ドライイング）を行う上で、犬に負担がかからないように仕上げる事が出来るようになる
グルーミングを行いながら犬の扱い方・保定の仕方を身に付ける

後期

1 頭の犬に対するグルーミングの一つ一つの作業を丁寧に行えるようにする
時間も意識しながら仕上がりを綺麗にする

授 業 計 画

- 1 回 道具配布・座学（グルーミングとは～コーミング）
- 2 回 座学（耳掃除～道具による怪我）
- 3 回 座学（ハサミについて～実習の諸注意）
- 4 回 座学（実習室案内～リボン作成）
- 5 回 モデルグルーミング
- 6 回 初グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 7 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 8 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 9 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 10 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 11 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 12 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 13 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 14 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 15 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 16 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 17 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 18 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 19 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 20 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）

- | | |
|------|----------------------|
| 21 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 22 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 23 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 24 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 25 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 26 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 27 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 28 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 29 回 | グルーミング実習（2～3 人で 1 頭） |
| 30 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 31 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 32 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 33 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 34 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 35 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |
| 36 回 | グルーミング実習（1～2 人で 1 頭） |

じゅぎょう ほうほう 授業の方法

実技実習・講義

きょうざい 教材

グルーミング用品・講義プリント

ひょうか ほうほう 評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法

ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係

あり

ホームルーム/ビジネスマナー

(授業概要)

接客や社会人の基本となるビジネスマナーを身に着ける。

インターン実習や業界理解のための時間とする。

愛玩動物看護師の国家資格取得に向け、試験勉強の方法や問題演習を行う。

科	動物看護師学科	教員	寺鼻 友美
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35

目標

前期

動物に関する職業に就く際の心構えを習得し、動物看護師だけでなく、動物業界を理解できるようになる。
立ち方やお辞儀の仕方などの所作を身につける。

敬語(丁寧、謙譲語、尊敬語)の差別化をして理解し話せるようになる。就職活動やインターンシップでの重要となる書類である履歴書とお礼状。

この2つの書き方やマナーを知り、正しく書けるようになる事。

クラスの一致団結を深める・必要に応じて行事の準備の時間にあてる。

電話対応など全般的なビジネスマナーを習得する。

後期

動物看護師国家試験受験に向け、心構え・試験対策の土台をつくる。

スーツの着方(男性の場合は身だしなみやネクタイの結び方など、女性の場合も身だしなみやアクセサリなど)の間違いと正解を区別できるようになる。

現代の最新のビジネスマナーでもあるリモートワークマナーを知る。

席次(上座と下座)、名刺交換の基本を理解し実践ができるようになる。

授業計画

- 1回 自己紹介(自分の長所、短所、趣味など面接でよく聞かれる項目も入れて発表を行う)
- 2回 学校でのエレベータの使い方、受付の利用の仕方、校舎見学、
- 3回 動物との接し方・動物業界を知る
- 4回 ホウレンソウ、5W3Hについて、人間関係のマナー・実践
- 5回 ビジネス用語(基本・求人・動物業界特有も含む)
- 6回 ビジネス会話の基本(敬語について、定番の言い回し、クッション言葉)・実践
- 7回 会社での挨拶の仕方、立ち方、お辞儀の基本、椅子の座り方、入退室の基本。・実践
- 8回 電話対応・実践回 ビジネス文章(紙・メール)・実践
- 9回 電話対応
- 10回 求人票の見方
- 11回 履歴書の書き方・実践

- 12回 夏休みの過ごし方・勉強の仕方について
- 13回 前期末試験
- 14回 試験返却・フィードバック
- 15回 動物看護師を目指すにあたり、後期からの勉強方法について
- 16回 お礼状の書き方・実践
- 17回 封筒の書き方・送り方
- 18回 名刺交換・実践 席次
- 19回 会社での役職と序列・雇用形態
- 20回 企業セミナーを受けるにあたり動物業界を目指すための心構え(身だしなみ)
- 21回 国家試験対策
- 22回 国家試験対策
- 23回 国家試験対策
- 24回 国家試験対策
- 25回 国家試験対策
- 26回 ビジネスマナー全般の総復習
- 27回 後期末試験
- 28回 後期末試験フィードバック・実力テストについて
- 29回 実力テスト返却・解説
- 30回 国家試験対策
- 31回 国家試験対策
- 32回 国家試験対策
- 33回 国家試験対策
- 34回 国家試験対策
- 35回 春休みの過ごし方・勉強の方法を再度伝える
- * 随時面談をして学生をフォローしていく

授業の方法

講義、問題演習、実践

教材

なし

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

校内やプライベートでも意識して実践をする。

例えばエレベータにて席次を意識して乗る事。先生やアルバイト先の先輩・店長など常日頃、敬語(丁寧語、尊敬語)を意識して話すなど。

国家資格受験に向け日ごろから他教科の復習を行う習慣をつける。

じつむけいけん じゆぎやうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり(動物看護師)

トレーニング概論実習

（授業概要・目的）

犬を扱う仕事（トリマー、ペットショップ、動物看護師、ドッグトレーナー）をする上で必要な知識を身につけるために犬の生態、特質、犬種のもつ特性を理解し犬を正しく扱えるようになる。また家庭犬としてのしつけに必要な知識と技術を得る

科	動物看護師学科	教員	田村亜理沙
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	70

目標

前期

犬の歴史と進化、家畜化について理解する。犬の生態、習性や行動を知る

後期

犬のボディランゲージやサインを理解し、犬とのコミュニケーション技術を得る

人と犬との生活のルールやマナーを構築していく為の知識をつける

授業計画

- 1回 実習の諸注意、班分け、
- 2回 犬の歴史
- 3回 犬の進化
- 4回 家畜化とは
- 5回 の生得的本能
- 6回 犬の素因、、
- 7回 犬種の特徴
- 8回 特質について
- 9回 犬の素因と育つ環境の相互作用
- 10回 犬の脳と行動の関係
- 11回 子犬の成長過程 1
- 12回 子犬の成長過程 2
- 13回 犬の思春期がもたらす行動の変化
- 14回 犬の群れの階級とは
- 15回 前期のまとめ
- 16回 テスト
- 17回 テスト

- 18回 テスト返し・解答
- 19回 犬の同種同士のコミュニケーションについて
- 20回 嗅覚によるコミュニケーション
- 21回 聴覚によるコミュニケーション
- 22回 視覚によるコミュニケーション
- 23回 ボディランゲージ1
- 24回 ボディランゲージ2
- 25回 犬のストレスとは
- 26回 犬のストレスサイン
- 27回 犬の回避行動と服従行動
- 28回 犬の威嚇、攻撃行動
- 29回 カーミングシグナル
- 30回 カーミングシグナル
- 31回 犬のパーソナルスペース
- 32回 犬と人との暮らしについて/犬を飼うことのリスクとメリット
- 33回 家庭犬の選び方/家庭犬のしつけとは
- 34回 テスト
- 35回 テスト

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

座学、実際に犬を使つての実技実習

きょうざい
教材・

テキスト、DVD 等

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん
期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

実習犬の散歩等を通して、犬の管理や取扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり、陽性強化法を用いた訓練を通し、正しい犬との関係性の構築の仕方を教える

コンピューター実習Ⅰ

（授業概要）

本講義では、Microsoft Word を用いたビジネス文書の作成、Excel を用いた表計算とグラフ作成、PowerPoint を用いた基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行えるようになることを目的とする。

科	動物看護師学科	教員	大西 望
コース	動物看護師コース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

前期

タッチタイピングが行える。

Microsoft Word を使用して、基本的なビジネス文書の作成が行える。

後期

Microsoft Excel を使用して、数式・関数を用いた計算と、グラフの作成が行える。

Microsoft PowerPoint を使用して、基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行える。

授業計画

- 1 回 授業概要
- 2 回 タイピング基礎
- 3 回 文字の入力と変換
- 4 回 Word 基本操作、画面構成
- 5 回 ページ設定、文章入力、文字の編集
- 6 回 フォントの設定、段落設定、箇条書き
- 7 回 課題（1）
- 8 回 グラフィック機能（1）；ワードアート、画像
- 9 回 グラフィック機能（2）；文字の効果、ページ罫線
- 10 回 グラフィック機能（3）；図形、SmartArt
- 11 回 表の作成と編集（1）
- 12 回 表の作成と編集（2）
- 13 回 表の作成と編集（3）
- 14 回 課題（2）
- 15 回 前期復習
- 16 回 Word 確認テスト
- 17 回 Word 確認テスト振り返り（前期最終）
- 18 回 後期授業概要、Excel 基本操作、画面構成（後期初回）
- 19 回 データの入力と編集、オートフィル
- 20 回 数式の入力
- 21 回 関数（1）；SUM, AVERAGE
- 22 回 関数（2）；COUNT, MAX, MIN

23 回 絶対参照と相対参照
 24 回 表の書式設定，表示形式
 25 回 表の編集
 26 回 グラフ（１）；円グラフ
 27 回 グラフ（２）；棒グラフ
 28 回 Excel 復習
 29 回 Excel 確認テスト
 30 回 Excel 確認テスト振り返り
 31 回 PowerPoint 基本操作，画面構成，新規プレゼンテーションの作成
 32 回 テーマ設定，テキストの入力と編集，箇条書き，フォントの設定
 33 回 図形，画像，アニメーション
 34 回 個人課題（１）
 35 回 個人課題（２），後期振り返り（後期最終）

じゅぎょう ほうほう
 授業の方法

コンピューター演習

きょうざい
 教材

よくわかる Word2021 & Excel2021，FOM 出版

ひょうか ほうほう
 評価の方法

授業中の取り組み態度 10%，課題提出 40%，テスト 50%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
 授業外での学習方法

予習 1h，復習 1h

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
 実務経験と授業科目の関係

あり

人間形成概論

(授業概要)

人間関係に関する基礎知識を持ち、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、生き物を扱う職務を遂行する社会人として、良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。

科	動物看護師学科	きょういん 教員	長岡 森田
コース	動物看護師コース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	×
たいしょうねんじ 対象年次	1年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

前期

人間関係の基本となることを、グループワークや用語を知ることにより、実際の社会生活に活かせる術を身に付けていく。

後期

前期に続き、社会生活に活かせる術を身に付ける。

授業計画

- 1回 講師の自己紹介、生徒同士の自己紹介
- 2回 デスカッションのやり方 PREP 法について
- 3回 パーソナリティについて
- 4回 対人認知 ステレオタイプ①
- 5回 対人認知 ステレオタイプ②
- 6回 人間関係とは①
- 7回 人間関係とは②
- 8回 インターネット依存症について
- 9回 感情について
- 10回 ストレスについて①
- 11回 ストレスについて②
- 12回 試験対策
- 13回 前期期末試験
- 14回 テスト返し 試験のフィードバック
- 15回 人間関係を理解する①
- 16回 人間関係を理解する②
- 17回 カウンセリング 悩み相談について①
- 18回 カウンセリング 悩み相談について②
- 19回 動機付け(モチベーション)①
- 20回 動機付け(モチベーション)②
- 21回 集団について①
- 22回 集団について②
- 23回 コーチング

- 24 回 リーダシップ
- 25 回 チームで仕事をするについて
- 26 回 人間関係を難しくする障害
- 27 回 試験対策
- 28 回 後期期末試験
- 29 回 後期期末試験
- 30 回 テスト返し 試験のフィードバック
- 31 回 前期のまとめ①
- 32 回 前期のまとめ②
- 33 回 後期のまとめ①
- 34 回 後期のまとめ②
- 35 回 社会にでることについて

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義、問題についてのレポートと討論、グループワーク

きょうざい
教材

適切な教科書がないため、授業ごとにまとめたプリントを配布する。

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん 期末試験80%、じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

身の回りの事象が、授業内容とどのように関係しているかを意識する。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

なし